

## 令和5年度 大和市予防接種運営審議会 議事録

日 時:令和6年2月2日(金)午後7時30分から午後8時30分まで

場 所:大和市地域医療センター 2階 講習室

出席者:委員 7人:玉井会長、芳沢委員、横田委員、上田委員、出口委員、西海委員、粟生委員、

事務局:職員 5人:

医療健診課:山中医療健診課長、羽鳥健康診査・がん予防・新型コロナウイルス対策係長、  
矢野主査、佐藤主査

新型コロナウイルスワクチン接種担当:鈴木新型コロナウイルスワクチン接種係長

### 1. 開会:山中医療健診課長

令和5年度大和市予防接種運営審議会を開会いたします。この審議会につきましては、本市におきま  
す予防接種の円滑な運営体制などに関し、先生方からご意見をいただく場として重要な機関と考えてお  
ります。委員の出席状況につきまして、委員7名中全員出席のため、審議会規則第5条第2項に従  
い、会が成立することを報告いたします。

### 2. 挨拶:玉井会長

本日はご多忙の中、遅い時間にお集まりくださりまして誠にありがとうございます。来年度からは新し  
い定期接種も導入され、いろいろ情報が多いと思いますので早速本題に入りたいと思います。どうぞ皆  
様、ご審議のご協力よろしくお願いいたします。

### 3. 報告 ○:委員 ●:事務局

#### 1) 定期予防接種実施状況

- ①. 各定期予防接種 年度別接種件数及び接種率などについて説明(資料1-1-1)
- ②. 各定期予防接種 出生年度別接種者数及び接種率などについて説明(資料1-1-2)

#### 臨時予防接種実施状況

- ①. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について説明(資料1-2)

#### 2) 間違い報告等について

- ①. 定期予防接種の間違い報告などについて説明(資料2-1)
- ②. 臨時予防接種の間違い報告などについて説明(資料2-2)

#### 3) 大和市予防接種情報提供サービス「らくらく予防接種」登録状況報告

- ①. 登録状況について説明(資料3)

### 意見・質問等

○:成人の風しん、または麻しん風しんワクチンの公費助成事業はいつまで続くのか。もう一点、達成率はど  
のくらいの数字なのか。将来的に麻しん風しんを撲滅するためにはこの年代のワクチン接種がとても大  
事だと認識しているがどうか。

●:任意接種の費用助成事業については、風しんを撲滅するための県の対策として、県より補助金を受けて  
実施しているものである。今のところ県より期限は示されていないため、当面の間は継続するものと思  
われる。また、達成率については、対象者が19歳以上の妊娠を希望する女性や、妊婦のパートナーとな  
っていることから、対象人数が把握できないため、実施率・達成率を出すことは難しいのが現状である。

○: 県の風しん予防接種・抗体検査事業は、令和6年度まで継続となる。

○: MR ワクチンの接種率は目標値が95%以上とされているが、達していない。最近では海外からの輸入例が増えており、管轄地区で疑い例が散見されている。ぜひ接種率向上のための取り組みをお願いしたい。

○: 定期予防接種の副反応疑いについて。おたふくかぜワクチンに関する有害事象のケースについてだが、4種混合と水痘ワクチンも同時に接種しているが、おたふくかぜワクチンによるものということか。

●: PMDA より県を通じて受けた報告によると、接種の区分は定期接種ではなく任意接種となっている。恐らく、精密検査を行った結果、ムンプスによるものだという見立てだと思われる。

#### 4. 議題

- 1) 令和6年度大和市予防接種事業計画案(資料4-1、参考資料1~3)
- 2) 令和6年度新型コロナワクチン接種について(資料4-2、参考資料4)

#### 意見・質問等

○: コロナワクチンはインフルエンザとの混合ワクチンでもよいのか。

●: どのようなワクチンが開発されるかにもよると考えるが、その点についてはまだ示されていない。

○: 今年のインフルエンザワクチンの供給は問題なかったが、来年から一社撤退するようだ。ワクチンの供給体制について国や行政などで調整ができてきているのか。いろいろな形のインフルエンザワクチンの開発が進んでいる中で、皆が従来型のワクチンを打たなくなるのか、その辺の見通しはどうか。ぎりぎりのところで調整して打つというのは、現場は大変混乱するので、何か情報はないか。

●: ワクチンの供給についてはまだ情報がなく、お伝えできない。

○: 5種混合ワクチンも15価小児用肺炎球菌ワクチンも接種方法に‘筋注又は皮下注’とされている。これは接種する側としては非常に迷うところで、個人に任せる接種ということか。それともこれを受け、市で一本化するか、方向性を示した方が接種する側としては迷いをクリアできると考えるがどうか。

●: 2種類の接種方法について、どちらを推奨するかなど、国から具体的なことは示されておらず、市からお示しするのは難しい。最終的には医師の判断によるということになると思うが、今後新しい情報が示され次第お伝えしたい。

○: 実際に4月から接種が始まる。何か根拠があれば、例えばロタワクチンは2種類あるがこれはどちらでも良いというのがある。接種方法では、例えば筋注の方が少し抗体のつきが良いとか、皮下注と同じだとか、そういう根拠を示して接種する側に選んでもらうというのは分かるが、根拠が無いままでどちらかを選ぶというのは非常に難しいので、筋注はこうです、皮下注はこうですというのを示した上で接種する側に選んでもらうようにしないと、今のままではどうしたら良いか分からない状態になると思うがどうか。

○: 市は答えられないと思う。海外では筋注が標準である。筋注の方が抗体価の上りが良いというのは大体分かっている。今回の改定でやっと日本も筋注に踏み込んだと感じている。他のワクチンはまだ皮下注ということで非常に中途半端な扱いではあるが、移行期ということでやむを得ないのではないかと。これは各接種医が勉強して筋注・皮下注どちらがよいか、それぞれで判断してもらえないのではないかと。市がこうしてくださいというのは出せないと思う。

○: 接種医が判断する上で、何か資料などがあれば示していただければと思う。

⇒ 議題1及び2について、委員全員より承認された。

#### 5. その他連絡事項

- 1) 令和6年度予診票の変更点について(資料5-1)
- 2) 日本脳炎について(資料5-2)

### 3) BCG 予防接種の実施に係る研修会実施報告について(資料5-3)

#### 意見・質問等

- :5種混合ワクチンが追加されることにより、母子手帳も変更されるのか。また、いきなり5種と書かれて、それが何かと伝わるのか、心配している。もし可能であれば、5種が何なのか、あるいは4種がどういうものなのか、記載があると後で確認ができて良いのではないかと思う。
- :予診票の接種歴を記入する欄については、5種混合の部分に(ヒブ+4種混合)と補足で記載しており分かるようになっていっていると思う。上部のワクチン名にチェックボックスにレ点を記入する部分にも、同様に5種混合がヒブ+4種混合であることが分かるよう明記することを検討したい。また、予診票送付時には、市からのお知らせ等も同封するため、保護者の方にも混乱がないよう、分かりやすく丁寧な説明を加えたい。母子手帳の改定については分かりかねるが、しばらくは現在のものが対象者の保護者に配布されるものと思われる。
- :全国的に母子手帳の名称を変える動きがあるが、市ではどうか。
- :市では現在親子健康手帳という名称を用いているが、母子健康手帳という呼び方が浸透しているの  
で、各お知らせ等には親子健康手帳(母子健康手帳)と併記する形で対応している。
- :5種混合ワクチンの説明について、市には丁寧な説明をお願いしたい。
  
- :5種混合ワクチンの流通量は十分に確保されるのか。BCGについても、単価が上がることに伴い、買い占めによるものなのか一部のクリニックでワクチンが不足したことがある。ワクチンは市の分配制ではないため、打てないという状況になってしまわないか心配している。最初にある程度の数があるのかなど、情報があれば教えていただきたい。
- :国は、十分な供給が可能であるという情報を前提に、定期接種化の方針決定をしたと思うが、実際現場ではワクチンの確保が難しい医療機関が出てきてしまう可能性はある。
- :いままでも他のワクチンで同様のことがあった。5種混合や肺炎球菌ワクチンでも起こりえる可能性はある。国、県と連携して対応いただけるとありがたい。
  
- :本審議会は来年度、改選期になる。来年度の開催は令和6年7月下旬を予定している。

#### 6. 閉会